

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)

【公表番号】特表 2008-539106 (P2008-539106A)
 【公表日】平成 20 年 11 月 13 日 (2008.11.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-045
 【出願番号】特願 2008-508973 (P2008-508973)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 5/24 (2006.01)
D 0 4 H 3/00 (2006.01)
D 0 4 H 3/16 (2006.01)
A 6 1 F 13/49 (2006.01)
A 6 1 F 13/514 (2006.01)
A 6 1 F 13/02 (2006.01)
A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 5/24
 D 0 4 H 3/00 D
 D 0 4 H 3/16
 A 4 1 B 13/02 F
 A 6 1 F 13/02 A
 A 4 1 B 13/02 T

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 4 月 21 日 (2009.4.21)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

潜在的弾性を有する複合不織布であって、
 熱可塑性エラストマーを含む第一成分とシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二成分を含む潜在的弾性芯と、
 前記弾性芯に積層された少なくとも 1 つのギャザー寄せ可能な表面材料と、
 を含むことを特徴とする複合不織布。

【請求項 2】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項 3】

前記第一成分は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項 4】

前記第一フィラメントは、前記潜在的弾性芯の実質的には機械方向に向けられる連続するフィラメントであることを特徴とする請求項 3 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項 5】

前記第二フィラメントは、前記潜在的弾性芯の実質的には機械方向に向けられる連続するフィラメントであることを特徴とする請求項 3 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項 6】

前記第二フィラメントは、メルトブローンフィラメントであることを特徴とする請求項 3 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項 7】

前記潜在的弾性芯は、前記スチレン系ブロックコポリマー及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む、連続する複合フィラメントを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項 8】

潜在的弾性を有する複合不織布の形成法であって、

a) 熱可塑性エラストマー及びシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む弾性芯不織成物を押し出し、

b) 前記弾性芯不織成物を冷却して、延伸し、

c) 少なくとも 1 つのギャザー寄せ可能な表面材料を準備し、

d) 前記弾性芯不織成物を前記ギャザー寄せ可能な表面材料に積層して、潜在的弾性を有する前記複合不織布を形成する、
段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項 9】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする請求項 8 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布の形成法。

【請求項 10】

前記弾性芯不織成物は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項 8 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布の形成法。

【請求項 11】

前記弾性芯は、前記スチレン系ブロックコポリマー及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む連続する複合フィラメントを含むことを特徴とする請求項 9 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布の形成法。

【請求項 12】

前記弾性芯不織成物を前記ギャザー寄せ可能な表面材料に積層する前に、前記ギャザー寄せ可能な表面材料の前記表面に接着剤を塗布する段階を、更に含むことを特徴とする請求項 8 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布の形成法。

【請求項 13】

前記接着剤は、前記ギャザー寄せ可能な表面材料にスプレー塗布されることを特徴とする請求項 12 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布の形成法。

【請求項 14】

潜在的弾性を有する複合不織布を含む個人用ケア製品であって、

熱可塑性エラストマー及びシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む潜在的弾性芯と、

前記弾性芯に積層された少なくとも 1 つのギャザー寄せ可能な表面材料と、
を含む、潜在的弾性を有する複合不織布から構成された個人用ケア製品。

【請求項 15】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする請求項 14 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布を含む個人用ケア製品。

【請求項 16】

前記潜在的弾性芯は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項 14 に記載の潜在的弾性を有する複合不織布を含む個人用ケア製品。

【請求項 17】

個人用ケア製品の形成法であって、

- a) 潜在的弾性を有する複合不織布を準備し、前記複合不織布は、熱可塑性エラストマー及びシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む潜在的弾性芯と、前記弾性芯に積層される少なくとも1つのギャザー寄せ可能な表面材料とを含み、
 - b) 前記複合不織布を個人用ケア製品に締結し、
 - c) 前記複合不織布を活性化し、
 - d) 前記複合不織布を収縮させて、前記複合不織布の延伸可能性を増進させる、
- 段階から成ることを特徴とする方法。

【請求項 18】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする請求項17に記載の潜在的弾性を有する複合不織布を含む個人用ケア製品。

【請求項 19】

前記潜在的弾性芯は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項17に記載の個人用ケア製品の形成法。

【請求項 20】

前記潜在的弾性芯は、前記スチレン系ブロックコポリマーと前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む連続する混合フィラメントを含むことを特徴とする請求項18に記載の個人用ケア製品の形成法。